

<自治力・自浄力>

校長 佐藤 幹彦



前回のつばやきで、いよいよ本格的に生徒会活動（委員会・係活動）が始まったということを書きました。その後、全校的に「時間行動」と「環境美化」の取組が始まったのですが、ここまでのところでは、どの学年・学級でも、「時間を意識して行動する姿」や「自分たちの身の回りをきちんと整えようとする姿」が見られて、とても良いスタートが切れていると思います。



左の写真は、ある日の3年1組の教室の様子です。移動教室で中には誰もいなかったのですが、ふと教室内を見たところ、机列がビシッと整えられ、ロッカーがきちんと整頓されていて、ゴミ一つなく誰もいないのに凜とした「緊張感」が感じられるほどでした。きっと、学級みんなで協力し、呼応し合って活動した成果だと思いますが、とても素敵な様子でしたので、早速お昼の全校放送で紹介しました。そして、私自身担任をしていた時に、「生徒会活動が本当に機能しているかどうかは、「移動教室や放課後の教室の状況」、「掃除ロッカー内のようにふだんあまり人目につかないところ」、そして、「担任の不在時」にこそ明確に現れる。」と指導されてきたことも話しました。

本校では今年度より、毎時間の授業開始前に「小鳥のさえずり」を放送して「自律的」に時間を意識するようしたり、「週3日掃除」にして普段より自分の周りの環境に気付き、きれいに保つ意識を高めさせたりする工夫を続けています。しかし、「水は低きに流れる」と言うように、活動がマンネリ化すればすぐに活動が停滞・低下してしまいます。

生徒たちには、蘇原中で大切にしている「自分たちの生活を自分たちの手で創る」という「志」＝「蘇原中プライド」を大切に、今後も活動成果が右肩上がりになるように、定期的な活動の見直しと工夫を大切にしながら、「自治力・自浄力」のある生徒会活動となるよう高めていってくださることを期待しています。